



千丁小だより

八代市立千丁小学校

学校だより第4号

令和4年7月21日 文責：校長



主体的・対話的で深い学びの実現に向けて



本校では、校内研究のテーマを「主体的・対話的で深い学びを保障する教育活動の実現～子供の主体性が見える授業を目指して～」とし、授業実践・改善を行うことで確かな学力の育成を図ります。7月13日（水）には、5年1組で算数の研究授業を行いました。

全職員で参観し、放課後には、今日の授業が、子供たちの「わくわく」「分かった」「できた」を大切にしながら、「高め合う集団」を目指した授業であったかどうかについて協議をしました。今後も引き続き、子供たちが活躍する授業づくりに取り組んでまいります。



タブレットPCを活用した学び合いの様子

「わんぱく寄席」でワッハッハ



6月24日に文化芸術推進事業として「わんぱく寄席」が本校体育館にて行われました。演目は、落語・紙切り芸・江戸曲独楽があり、子供たちも日本が誇る伝統芸能のおもしろさを実感していました。



5年代表児童による落語

また、5年生代表児童4人による落語も披露し、約1ヶ月間の練習の成果を本番で見事に発揮することができました。公演後、6年代表児童による謝辞も大変立派でした。落語を楽しむと同時に、代表となった子供たちの表現力に感心いたしました。

6年代表児童による謝辞



ICT機器を効果的に活用中

ICT機器が学びのツールとして新たな選択肢となっています。コロナ禍でもあり、学びに有効な手段として本校では活用を推進しています。現在、学校情報化認定「優良校」の取得を目指しています。



2年生、Zoomを練習

写真機能で記録



考えをまとめるツール

1学期終了にあたって

1学期が終わり、夏休みに入りました。保護者及び地域のみなさまにはご理解とご協力をいただき、大変お世話になりました。多くの方々のおかげがあり、千丁小の子供たちは今学期安心して学校生活ができました。心から感謝を申し上げます。

